

一般避難スペースの準備、及び運営

開設手順一覧

- 手順 1 リーダー決定
- 避難所開設開始
- 手順 2 発電機と投光器の設営
- 手順 3 最初の待機場所に誘導
- 手順 4 安全点検未了建物への立入禁止処置
- 手順 5 施設内の安全点検
- 手順 6 受付場所の設営
- 手順 7 受付への誘導
公民館への誘導
- 手順 8 事前（保健）受付
- 手順 9 トイレの準備
- 手順 10 専用スペースの準備
- 手順 11 一般避難スペースの準備
- 手順 12 総合受付
- 手順 13 **訓練は省略**
ライフライン確認
- 手順 14 **訓練は省略**
市本部連絡
本部と班の編成

手順 11 は、発災時の一般避難スペース区画割を準備する手順ですが、総合訓練に際しては、体育館内で講習や体験学習などの運営を行います。

令和7年10月26日略称一斉避難訓練の体育館内の運営手順は以下のとおりです。

(1) 3種の講習・体験学習

- A一次救命処置受講コーナー（日本赤十字社）
- B断水時トイレ対応体験コーナー（県防災士会）
- Cパーティション・ベッド組立体験コーナー（観音寺市）

(2) 運営の流れ

総合訓練上の避難者は、受付を済ませたら、番号カードを受け取り一般避難スペースに入所して来ます。番号カードに基づく40人を1グループとして、上記Aから順に各コーナーを受講又は体験してもらいます。尚、番号により親子連れが分かれるような場合は40人にこだわらずに要望を受け入れてください。

(3) 時間管理

一斉訓練上の避難者が多数の場合、1グループあたり15分を割り当て回転させます。
少数の場面では、同20分に変更します。

(4) 役割分担と内容

2名：入所直後の誘導役 番号カードを受け取った入所直後の避難者を、体育館の玄関からみて左奥のスペースに待機させます。口頭で指示してください。

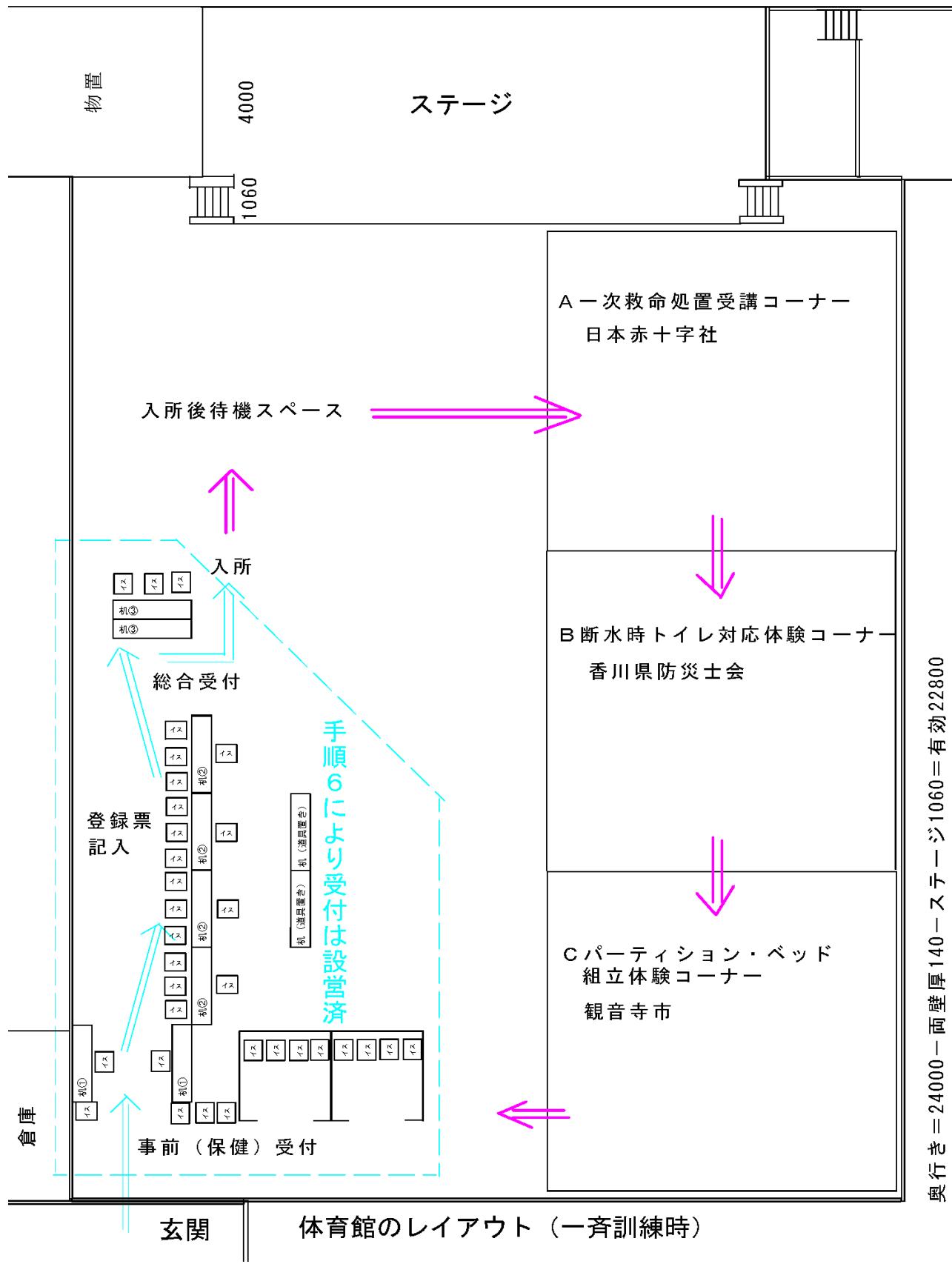
2名：進行時間管理と放送役 基本40人のグループ編成と各コーナーへの誘導を場内放送（移動可能なワイヤレスマイクを使用）で行います。また、講習体験を終えた避難者には、給食まで空きスペースで待機するよう放送ください。

各2名計6名：コーナー運営役 各コーナーに付いて、コーナー名称と講習該当番号の掲示、及び講師への進行指示を行ってください。

2名：伝令役 各役の連携と避難所開設リーダーとの連携を行ってください。

一般避難スペースの準備、及び運営

幅 = 19000 - 両壁厚 140 = 有効 18860



一般避難スペースの準備、及び運営

運営が終わったら
全員で、リーダーに報告し
この手順書を返却しましょう！